

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	小割 貴博 (****年**月**日)
本 籍	*****
学位(専攻分野)	博士(感覚矯正学)
学位授与番号	甲第181号
学位授与日付	令和5年3月21日
学位授与の要件	学位規程第3条第3項該当
論文題目	脳血管障害後の漢字失書における形態的誤りに関する研究 —漢字形態の構造と要素の認知・想起課題成績の分析—
審査委員	教授 塩見 将志 教授 福永 真哉 教授 種村 純

博士論文内容の要旨

本研究では漢字書字過程を「構造の想起」、「要素の想起」及び「要素の挿入」の3段階と仮定し、①漢字部首構成、②漢字の構造を答える、③構造から漢字を答える、④漢字正誤判断の4課題を作成した。これらを健常者30名、失書16名に実施したところ、②・③の両課題が困難で、次いで①、そして④は対象者全員が正解した。この結果から易から難に向かって1)漢字の視覚認知、2)要素の配置、3)構造・要素の想起、の3段階系列が確認された。そして漢字形態の知識が保たれた症例と保たれていない症例との間に書字の誤反応に相違が認められ、病巣の拡がりも異なっていることを明らかにした。

博士論文審査結果の要旨

発表者は予備審査での指摘事項に対する回答と、論文の修正箇所について説明した。特に病巣部位との関連について、漢字形態の知識の水準が重症化するにしたがって皮質下(被殻及び視床)、下頭頂小葉、上・中側頭回と、順に病巣が広がって行く、という関連性が認められたことを報告し、審査員はその意義を確認した。関連課題との関係、通過基準設定の方法、統計手法、症例の属性、失書症例の症状に関して、症例及び分析方法上の詳細を確認した。特に本邦における失書研究における本研究意義を検討した。